

Q：これがあだ名のヤクルトスワローズの選手

C：（ペンギンの絵）

A：安田猛

（1947年福岡生まれ1971年ヤクルト入りし、1年目で新人王と最優秀防御率獲得独特のフォームが「ペンギン投法」と呼ばれた）

Q：第1回ドラフト会議で阪神が一位指名した選手

C：石床幹雄

A：いしとこみきお

Q：ヤクルトスワローズの大投手

C：「松岡弘」

A：まつおかひろむ

（1947年岡山生まれ1969年サンケイ（現ヤクルト）入り通算190勝を挙げ、引退後は2005年まで二軍のコーチを務めた）

Q：ノーヒットノーランを3度達成

C：「外木場義郎」

A：そとこばよしろう

（1945年鹿児島生まれ1965年広島入団ノーヒッターは1965年10月2日阪神戦（プロ2戦目）、1968年9月14日大洋戦（完全試合）、1972年4月19日読売戦3度達成は他に沢村栄治のみ）

Q：ハマの大魔神

C：「佐々木主浩」

A：ささきかずひろ

（1968年宮城生まれ1989年大洋入り1999年マリナーズへ移籍し、2004年横浜に復帰するも2005年に引退した）

Q：みちのくプロレスのリーグ戦の名称

C：「鉄人」

A：てつんちゅ

Q：ヤクルトの代打の切り札「度会博文」

A：わたらいひろぶみ

（1972年千葉生まれ1993年ヤクルト入り）

Q：相撲の技です

C：「撞木反り」

A：しゅもくぞり

（「そり」は不可）（撞木＝鐘を鳴らすための棒状の仏具で、転じて犯罪人を捕らえるための突棒を指すようになった）

Q：かつてのプロ野球のコミッショナー

C：「大浜信泉」

A：おおはまのぶもと

（1891年沖縄生まれ1952年に早稲田大学の第6代総長に就任し、沖縄の本土復帰運動などでも活躍1971年に第5代コミッショナーに就任）

Q：中日、ロッテで監督をした今は亡き人

C：「濃人渉」

A：のうにんわたる

（1916年広島生まれ1936年金鯨入り戦後国民野球を経て1948年金星入り社会人監督を経て1961年中日、1964年東京（現ロッテ）の監督に就任した）

Q：（問題文不明）

C：「佐野仙好」

A：さののりよし
(1951年群馬生まれ中大から1973年阪神入り1989年に引退し、現在は球団スカウトを務める)

Q：(問題文不明)

C：「吉村禎章」

A：よしむらさだあき

(1963年奈良生まれ1982年読売入り1988年に左膝靭帯が断裂し、翌年復帰した1998年引退2006年に2軍監督に就任)

Q：(問題文不明)

C：「中尾碩志」

A：なかおひろし

(1919年三重生まれ1939年東京巨人入り終戦後1946年に復帰1957年引退1977年死去し、1998年野球殿堂入り)

Q：1985年優勝時に活躍した阪神のエース

C：「池田親興」

A：いけだちかふさ

(1959年宮崎生まれ1977年阪神からドラフト指名されるが拒否し、法大・社会人を経て1984年入団1985年の日本シリーズでは初登板で初勝利)

Q：元中日・中利夫の打法の名前

C：(提灯の画像)

A：ちょうちん(打法)

(投球の高低で体を提灯のように伸び縮みさせてストライクゾーンを変化させることでボールカウントを稼ぐ中利夫 = 1936年群馬生まれ1955年中日入り「三夫」「暁生」「登志雄」など、複数の登録名を使った)

Q：覆面レスラーでSuperCrewの校長

新幹線E2系の画像

A：はやて

(本名西田秀樹はやてとしては2002年にデビューした「こまち」とタッグを組んでいたSuperCrew = ディック東郷主宰のプロレススクール)

Q：女子プロレスラーのユニット

C：「CAZAI」

A：キャッツアイ

(キャンディー・奥津・浜田文子・秋野美佳・藤田愛の4人)

Q：女子バレーボール選手・吉原知子の出身高校

C：「妹背牛」

A：もせうし

(北海道中北部にあるアイヌ語の「モセユーセ(イラクサの茂る所)」に由来吉原とは関係ないが、1977年妹背牛商業高校女子バレーボール部が全国制覇した(吉原は1970年生まれ))

Q：サンフレッチェ広島FW

C：「盛田剛平」

A：もりたこうへい

(1976年愛知生まれ1999年浦和入りC大阪などを経て2004年広島入りする)

Q：これはボクシングのどういうパンチ

C：ファイティングポーズを取っているボクサーの画像

A：アッパーカット

(写真が微妙)

Q：阪急の黄金時代を支えた選手

C：「大橋穰」

A：おおはしゆたか

(1946年東京生まれ亜大から1968年東映入り1971年5月3日のロッテ戦では、日本記録の5者連続本塁打の3本目を放った1982年引退)

Q：プロ野球初代コミッショナー

C：「福井盛太」

A：ふくいもりた

(1886年群馬生まれ1946年検事総長に就任し、1950年にプロ野球初代コミッショナーに就任正力松太郎を初代コミッショナーとする説もある)

Q：プロ野球六代目コミッショナー

C：「金子鋭」

A：かねことし

(1900年新潟生まれ富士銀行頭取を経て1976年コミッショナーに就任「江川事件」の時のコミッショナーだった)

Q：アルゼンチン生まれの力士

C：「星誕期」

A：ほしたんご

Q：かつて新日本プロレスで修行をしていた韓国人レスラー

C：「力抜山」

A：りきばつざん

(「りきばっさん」でも可)

Q：韓国人の力士

C：「春日王」

A：かすがおう

(本名金成澤1977年生まれシルム(韓国相撲)を経て春日山部屋から1998年初土俵)

Q：セレッソ大阪の選手

C：「布部陽功」

A：ぬのべたかのり

(1973年大阪生まれブラジル留学を経て1995年V川崎(当時)入りその後磐田・神戸を経て2001年からC大阪)

Q：1956年のパリーグ盗塁王

C：「河野旭輝」

A：こうのあきてる

(1935年和歌山生まれ社会人松下電器を経て1954年阪急入り1956,57年は阪急で、1962年中日で盗塁王史上唯一の両リーグ盗塁王)

Q：横浜フリーゲルズや柏レイソルで活躍した選手

C：「薩川了洋」

A：さつかわのりひろ

(1972年静岡生まれ1991年横浜F入りし、1999年に柏へ移籍)

Q：川崎フロンターレの選手

C：「中村憲剛」

A：なかむらけんご

(1980年東京生まれ中大から2003年に川崎入り)

Q：川崎フロンターレの選手

C：「寺田周平」

A：てらだしゅうへい

(1975年神奈川生まれ1999年に川崎入り)

Q：鹿島アントラーズの若手ディフェンダー

C：「羽田憲司」

A：はねだけんじ

(1981年千葉生まれ2000年に鹿島入り)

Q：近鉄で活躍した打者

C：「羽田耕一」

A：はだこういち

(1953年兵庫生まれ1971年近鉄入り2004年まで近鉄打撃コーチだったが、球団合併により2005年からオリックス球団職員となる)

Q：大リーグで活躍する日本人投手

C：「多田野数人」

A：ただのかずひと

(1980年東京生まれ横浜から指名寸前だったが、AV出演が発覚して取消となるその後インディアンスとマイナー契約し、2004年からメジャーへ)

Q：パンクラスの選手

C：「富宅飛駈」

A：ふけたかく

(1969年大阪生まれUWF、藤原組を経て1993年に船木誠勝らとパンクラスを旗揚げ)

Q：鹿島アントラーズの左サイドバック

C：「新井場徹」

A：あらいばとおる

(1979年大阪生まれガンバ大阪ユースから1998年デビューし、2004年に鹿島へ移籍)

Q：競走馬・ワカタカの馬主

C：「乾鼎一」

A：いぬいていいち

Q：ダンプ松本が組んだユニット

C：「桃色豚豚」

A：ピンクトントン

Q：女子プロレスラー

C：「美咲華菜」

A：みさきかな

Q：北尾光司が1994年に空手家を集めて結成したプロレス団体

C：「武輝道場」

A：ぶこうどうじょう

(1998年に北尾が引退、翌年闘龍門へ合流した北尾光司 = 1963年三重生まれ1979年初土俵で、1986年第60代横綱「双葉黒」となる1987年廃業し、1990年新日本でプロレスデビュー)

Q：川崎フロンターレのMF

C：「鬼木達」

A：おにきとおる

(1974年千葉生まれ2000年から川崎でプレー)

Q：セレッソ大阪のMF

C：「久藤清一」

A：くどうきよかず

(1974年兵庫生まれ1994年磐田入り2000年からC大阪で、2006年からは福岡でプレーする)

Q：(問題文不明)野球選手

C：「西村一孔」

A：にしむらかずのり

(1936年山梨生まれ1954年阪神入り翌年22勝17敗で最優秀新人賞受賞1960年引退し、レストラン・ビクトリアに入社、取締役専務となった)

Q：相撲で場所の優勝者に送られる

C：「賜杯」

A：しはい

(天皇から授けられる(賜る)杯であることから)

Q：羽根のついたボールを打ち合うバレーに似たスポーツ

A：インディアカ

(Indiaca1936年、ドイツのカールハンス・クローンがブラジルのペテカpetecaをベースに考案した)

Q：2003年にスティルインラブで牝馬三冠を制した騎手

C：「幸英明」

A：みゆきひであき

(1976年鹿児島生まれ1994年デビューし、4月に阪神で初勝利スティルインラブとのコンビで桜花賞でG1初勝利、そのままオークス・秋華賞も勝利した)

Q：横浜ベイスターズの背番号27

C：「龍太郎」

A：りょうたろう

(本名土居龍太郎1981年高知生まれ2002年法政大から自由枠入団2005年5月26日ソフトバンク戦でプロ3年目にして初勝利2004年に土肥義弘が入団し、名字が同じで紛らわしいため登録名を変更した)

Q：(問題文不明)

C：「新垣諭」

A：しんがきさとし

(1964年沖縄生まれ1984年IBF世界バンタム級王者に就任ただし、IBFはJBC未公認)

Q：巨人のピッチャー

C：「高橋尚成」

A：たかはしひさのり

(1975年東京生まれ1999年東芝から読売入り1年目は9勝を挙げたが、その後は伸び悩んでいる「宴会部長」と呼ばれたこともある)

Q：(問題文不明)

C：「借力」

A：チャクリキ

(韓国武術やトム・ハーリンクが1972年に創設した格闘技などの名前)

Q：ラジオ体操第二の作曲者

C：「團伊玖磨」

A：だんいくま

(1924年東京生まれ太平洋戦争中は軍楽隊に所属し、戦後作曲家として活動1948年にはNHK専属、1954年には東宝専属となるラジオ体操第二は1952年に制定された)

Q：(問題文不明)

C：「放駒」親方

A：はなれごま

(四股名は魁傑将晃、本名西森輝門1948年山口生まれ1966年初土俵で、1975年大関に就任1979年に引退して放駒を襲名、1981年花籠部屋から独立した)

Q：中嶋勝彦、土屋修平らの格闘家を輩出した空手道場

C：「璞名館」

A : はくめいかん
(元新日本プロレスの武内惣が1995年に設立)

Q : 日本書紀に記述のある、日本最初の相撲で勝った力士

C : 「野見宿禰」

A : のみのすくね

(出雲国生まれ垂仁天皇の命で角力(相撲)を行い、相手の足の骨を折って勝利した菅原道真の先祖にあたる)

Q : 野見宿禰の対戦相手

C : 「当麻蹴速」

A : たいまのけはや

(正しくは「當麻蹴速」大和国生まれ野見宿禰に敗れ、所有していた土地を没収された)

Q : 『殺戮ピラニア』と呼ばれる日本人PRIDE選手

C : 「長南亮」

A : ちょうなんりょう

(1976年山形生まれ極真会館を経て田村潔司主催のU-FILEへ入門するも離脱しフリーとなる2001年DEEPでデビューし、2003年には桜井“マッハ”速人に勝利2005年にはPRIDEに参戦)

Q : 全日本女子プロレス中継の実況で知られるアナウンサー

C : 「志生野温夫」

A : しおのはるお

(1932年大分生まれ1954年日本テレビに入社し、1972年にフリーとなる全日本女子プロレスのコミショナーも務めた)

Q : (問題文不明)

C : 「法被」

A : はっぴ

(もとは「はふひ」と呼ばれていたものが転訛した能楽や禅僧の着物にも同じ名前がついている)

Q : 阪神のジョーンズが初めてつけた背番号

C : 「00」

A : ダブルオー

(ルパート・ジョーンズRuppert S

Anderson Jones (1955年テキサス州生まれロイヤルズ、パドレスなどを経て阪神入り)が1988年に付けたバースと入れ替わりだったが、結果が残せず同年シーズン終了後退団した)

Q : サッカー日本代表

C : 「加地亮」

A : かじあきら

(「りょう」ではない1980年兵庫生まれ1998年C大阪入りし、翌年ワールドユースで準優勝大分・FC東京を経て2006年G大阪へ移籍代表は2003年のチュニジア戦から)

Q : (問題文不明)

C : 「輪島大土」

A : わじまひろし

(本名博1948年石川生まれ1970年初土俵、1973年第54代横綱に就任1981年引退するが、金銭問題で廃業しプロレスへ転向した)

Q : 2002年のサッカーワールドカップでベスト4入りした国

C : 韓国国旗の画像

A : かんこく

(「だいかんみんこく」も可)

Q：ロツテのクローザーとして活躍

C：「河本育之」

A：かわもとやすゆき

(1967年山口生まれ1991年新日鐵光からロツテ入り2000年に石井浩郎とのトレードで読売に、2004年には中村隼人とのトレードで日本ハムに移籍2005年からは楽天でプレー)

Q：タリア・セリエAで活躍の水球選手

C：「青柳勸」

A：あおやぎかん

(1980年京都生まれ1998年に史上最年少で日本代表となる2004年にベルガモへ移籍日本人初・唯一のセリエA日本人選手)

Q：メドレーリレーの最初の泳法

C：「背泳」

A：はいえい

(「せおよぎ」も可)(メドレーリレー＝背泳ぎ 平泳ぎ バタフライ 自由形の順)

Q：女子プロレスラー

C：「輝優優」

A：らんゆうゆう

(本名宮口知子1975年大阪生まれ1994年デビュー)

Q："楽天のナベツネ"ともいわれるイーグルスの投手

C：「渡邊恒樹」

A：わたなべこうき

(1978年神奈川生まれ社会人NTT東日本から2004年楽天入りちなみに父の名前は「恒雄」)

Q：(問題文不明)ボクシングのチャンピオン

C：「大東旭」

A：おおひがしあきら

(1970年大阪生まれ1996年には日本スーパーウェルター級チャンピオンとなるその後2005年にK-1に転向)

Q：(問題文不明)力士

C：「大砲」

A：おおづつ

(大砲万右工門本名角張萬次1869年宮城生まれ1900年に第18代横綱に就任)

Q：相撲の番付表の中央に書かれている

C：「蒙御免」

A：ごめんこうむる

(幕府から興行を許可されていることを示す江戸時代には度々相撲禁止令が出されていた)

Q：(問題文不明)

C：「毒島」章一

A：ぶすじま

(1936年群馬生まれ1954年東映入りし、三冠王を4度獲得する1971年に引退するまで東映一筋だった)

Q：西武ライオンズで活躍した選手

C：「安部理」

A：あべおさむ

(1962年岩手生まれ東北高から1980年西武入り1996年に近鉄へ移籍、1999年に引退現在は解説者の傍らマスターズリーグに参加)

Q：ZERO-ONEMAXで小笠原和彦が結成した空手家軍団
C：「押忍闘夢」
A：ストーム
(プロレス団体ZERO-ONEで小笠原と小林昭男が組んでいたコンビ)

Q：(問題文不明)
C：「前禪」
A：まえみつ
(相撲のまわしや禪(ふんどし)の前の部分)

Q：(問題文不明確)
C：「石床幹雄」
A：いしとこみきお
(詳細は既出のス択参照)

Q：セレッソ大阪で活躍するベテランMF
C：「森島寛晃」
A：もりしまひろあき(1972年広島生まれ東海大第一高からJFLのヤンマー
(現セレッソ大阪)入り2002年W杯で得点を挙げた日本人4選手の1人)

Q：四国アイランドリーグの代表
C：「石毛宏典」
A：いしげひろみち
(1956年千葉生まれ社会人プリンスホテルから1980年西武入り1996年ダイエーで引退し、その後ダイエー2軍監督やオリックス監督を経て2004年アイランドリーグ設立)

Q：ヨット教義のスナイプの語源となった
C：「嶋」
A：しぎ
(snipeチドリ目の主にシギ科の鳥の総称)

Q：ヤクルトのマスコットキャラ
C：「燕太郎」
A：えんたろう
(1994年のつば九郎、1999年のつばみに次いで2005年に登場背番号は102)

Q：(問題文不明)
C：「熱田孝高」
A：あつたよしたか
(モトクロスライダー1977年宮城生まれ2001年全日本モトクロス選手権国際
A級250ccのチャンピオンとなる)

Q：2000年パリーグの最優秀防御率
C：「戒信行」
A：えびすのぶゆき
(1972年兵庫生まれ兵庫育英高校から1990年にオリックス入りし、ヤクルトを経て2004年近鉄の
消滅と同時に引退)

Q：広島東洋カープで活躍しました
C：「水谷実雄」
A：みずたにじつお
(1947年宮崎生まれ1965年投手として広島入りするも腎臓病で野手転向1978年には首位打者、
1983年には打点王となっている)

Q：サッカー日本代表で、FC東京のGK
C：「土肥洋一」
A：どいよういち

(1973年熊本生まれ「天才・たけしの元気が出るテレビ!!」の企画がきっかけでJFL日立(現柏レイソル)と契約2000年にFC東京へ移籍連続試合出場のJリーグ記録を持つ2006年ワールドカップの日本代表に選出された)

Q : 浦和レッズのMF

C : 「堀之内聖」

A : ほりのうちさとし

(1979年埼玉生まれ東京学芸大から2002年にレッズ入り)

Q : 1952年にノーヒットノーランを達成した巨人の投手

C : 「大友工」

A : おおともたくみ

(1925年大阪生まれ1949年に巨人入りし、1953年には最優秀防御率、最多勝利の二冠獲得後に近鉄を経て1968年中日で引退1959~61年まで登録名を大友工司としていた)

Q : (問題文不明確)プロレスラーとミュージシャン~

C : 「矢口壱狼」

A : やぐちいちろう